

平成20年度半島らしい暮らし・産業創生調査 採択企画一覧

| 受付番号 | 半島地域 | 市町村名 | 申請者区分 | 申請者名 | プロジェクトの名称 | プロジェクトの概要 |
|------|---------|------|-------|----------------------|--|---|
| 1 | 積丹地域 | 余市町 | 任意団体 | 余市クラブ | よいちで ワイワイ！ ワインと鹿肉 | 同団体は、余市産の農作物、加工品等の紹介販売、鹿肉料理の提案等に取り組み、「よいちワイワイ！市場」に参画するなどしてきた。本事業では、札幌圏を対象に現地交流会（モニターツアー）を企画・募集し、参加者にワインと鹿肉料理を体験してもらうとともに、会場にワインの製造工程を写真展示することにより、鹿による農業被害対策、消費地に対する上質なワイン生産地であることの広報、食の提案等に資するとともに、見学・体験を含めたプログラムへの展開及び活性化に向けた地域全体の意識啓発を目指す。 |
| 3 | 室津大島 | 柳井市 | 任意団体 | 柳井地域ふるさとツーリズム・ネットワーク | 地域資源を活かした都市近郊型瀬戸内スロー・ツーリズムの構築～地元ホテル等観光産業と地域農林水産業が連携したふるさとツーリズムの実践～ | 同団体では、農業・漁業体験を軸とした体験プログラムの構築、受け皿づくりに取り組んできた。本事業では、実際に商品化していくため、旅行会社への営業活動、商品提案をゴールとして、体験メニューの精査と組み合わせによるプログラムづくり、推進体制や担い手人材の育成・研修、モニターツアー、旅行会社への企画営業活動を行う。これにより、通過型観光地となっている柳井地域の新たな観光資源としての活用、地域活性化と第一次産業の所得向上をめざす。 |
| 4 | 宇土天草地域 | 上天草市 | NPO法人 | 上天草アクティブセンター | 半島資源まるかじり | 同団体は、干潟、ウミホタル等の観察会、市民ボランティア「フィールドスター」の育成等を行ってきた。本事業では、ハクセンシオマネキの生態を映像（動画）で解説するデジタル図鑑を作成し、インターネット等で発信する。また、昨年の「半島地域づくりフォーラム」の昼市への参加を契機に地元の農村婦人加工グループの意欲が高まっていることから、デジタル図鑑の完成披露イベントとして、農村婦人加工グループと連携し、全国の半島地域から物産の提供を受けて「全国の半島おすそわけ市」を開催する。 |
| 5 | 紀伊地域 | 湯浅町 | 任意団体 | 紀州湯浅「紀伊国屋文左衛門の会」 | 麹を使った食品群の改善と地場産品の見直しによる販売拡大事業 | 同団体は、麹を使った地場産品作りをしている人々の集まりである。湯浅は麹を用いた醤油、金山寺味噌、酒、酢等の発酵食品を伝承してきた土地であるが、食生活の変化により、生産・販売が少なくなっている。本事業では、醤油発祥の地である湯浅の食文化を見直し、時代のニーズに合った商品の開発・販売のあり方を検討し、地域の食品メーカーとの協力の下で、新商品の開発・試作・店頭での実演販売、他の地場産品と併せたネット販売等を行い、湯浅の麹食品の販路拡大を図る。 |
| 12 | 伊豆中南部地域 | 東伊豆町 | 任意団体 | 稻取若者会 | 御石曳き祭の復活による地域経済活性化 | 稻取には、江戸城建築の際に築城石（豊石）を山から削り出し、港まで人力で運び、港から海を渡り江戸まで運んだ歴史がある。この故事にちなみ、稻取では毎年「御石曳き祭」が催されていたが、平成8年を最後に途絶えている。同団体は、稻取の青年が地域の課題を議論する中で、「御石曳き祭」の復活を目指して結成された団体であり、平成21年秋の開催を目標に活動している。本事業では、「御石曳き祭」の復活に向けて事業計画の作成、開催準備等を行うとともに、地域の住民や諸団体の参画・協力・後援等を得るための情報発信、意識啓発等を行う。最終的には、「御石曳き祭」の復活により、観光客の増加、地域の住民との交流の拡大等を図り、地域経済の活性化を促す。 |
| 13 | 大隅地域 | 鹿児島市 | NPO法人 | 桜島ミュージアム | 桜島 TSUBAKI プロジェクト | 同団体は、桜島をまるごと博物館と考え、体験活動のための地域資源の収集保存、調査研究、教育普及等を行っている。近年、椿油が洗髪剤等として注目されている一方、桜島の椿油は、特産品であるにもかかわらず、県内外ともに認知度が低く、地域資源として十分活用されていない。本事業では、他の産地と差別化しうる桜島の椿油の新しいブランドイメージの確立・普及に向けて、若い女性をターゲットとした商品の企画開発を行うとともに、地域の観光施設での情報提供、インターネットによる地域外への情報発信を行うことにより、住民、生産者、観光施設、NPO法人等の連携の下での新たな産業の創出を図るとともに、地域の一体感を高め、地域振興に貢献することを目指す。 |

| | | | | | | |
|----|---------|-------|-------|------------|------------------------------------|--|
| 17 | 南房総地域 | 鴨川市 | NPO法人 | 大山千枚田保存会 | 鴨川市周辺地域におけるロングトレイルルートの開発と体験観光の資源発掘 | 同団体は、棚田を保全することを目的に平成9年に設立され、棚田・酒米のオーナー制度、棚田・大豆畑・綿藍のトラスト等を実施してきたほか、自然観察会など体験活動も行ってきた。本事業では、海、棚田、生物、文化など地域資源の発掘・整理を行い、それらを活かした体験観光の提案、周辺地域を結ぶロングトレイルルートの開発、モニターテスト等を行うとともに、体験観光への地域全体の参加を促していくことにより、地域資源の魅力の再発見・活用、体験活動の充実等を目指す。 |
| 18 | 幡多地域 | 土佐清水市 | 任意団体 | エコ幡多 | 幡多半島エコツアールート探訪 | 同団体は、「エコツアーガイド養成講習会」の修了者を中心に構成され、メンバーそれぞれがエコツアーや講義を行ってきた。本事業では、幡多半島独特の海岸線を活かすエコツアーや可能性を探るため、陸上でのトレッキングルート及び海上でのシーカヤックルートの調査、ルートマップの作成等を行い、それを基に1泊2日のモニターツアーを実施するとともに、ルートマップの作成、モニターツアーの参加者との交流等を通じて、地域住民による地域資源の再発見を促す。最終的には、エコツアーやの展開により、地域産品の加工・販売の促進、新たな雇用の創出等を目指す。 |
| 22 | 伊豆中南部地域 | 下田市 | 個人 | 渡辺 一夫 | 下田ガイドブック | 同氏は、下田の魅力を発信し、再発見してもらうため、下田を「観る・知る・遊ぶ」ためのフリーペーパー「下田的遊戯」を発行してきた。本事業では、これまでの取組の成果の集大成となる「下田ガイドブック」を作成し、関係者のネットワークを通じて広く発信することで、新たな観光客の獲得、住民の地域に関する知識の向上等を通じた下田の振興を目指す。 |
| 23 | 国東地域 | 日出町 | NPO法人 | 風まち茶屋 | 深江のまちの海にまつわる物語 | 同団体は、古くから港町として栄えてきた日ノ出町深江地区に残る文化、伝統、遺産等を活用した未来に続く町づくりを目指して平成18年に設立され、深江湊朝市、町並みボランティアガイド、人間魚雷「回天」基地跡の整備等を行ってきた。本事業は、「回天」基地跡のウォーキングコースの調査・開発、襟江亭、「回天」基地跡等の案内看板及び観光マップ・ポスターの作成等を中心に、地域資源の保存・活用を図り、地域経済の向上を目指す。 |
| 24 | 紀伊地域 | 伊勢市 | NPO法人 | 二見浦・賀日館の会 | 二見浦ブランドを活かした「結婚式の聖地・二見浦アイランド」事業の創出 | 同団体は、二見浦の地域資源カルテの作成、閉鎖されていたかつての貴賓の宿「賀日館」(県指定文化財)の保存、館内展示、案内等に取り組んできた。本事業では、二見浦の旅館街の再生を図るため、夫婦岩、「賀日館」、二見奥玉神社等を活用して結婚式を誘致する。具体的には、結婚式に関する意識調査を行うとともに、式・旅館街パレード・宴会が一体となったモデル結婚式を実施し、その結果を踏まえて、事業化に向けた役割分担、企画等を検討する。最終的には、二見浦を結婚式の聖地としてブランド化し、ここで式を挙げた夫婦に記念日や節目ごとに訪れてもらうことで、継続的な地域の活性化を図る。 |
| 26 | 紀伊地域 | 那智勝浦町 | 任意団体 | よみがえれ脇仲俱楽部 | 脇仲賑わい再生プロジェクト | 同団体は、那智勝浦町の「銀座通り」と呼ばれ賑わっていた脇入地区・仲ノ町地区(通称脇仲地区)の再生・活性化を目的として、平成19年度に地域住民によって設立され、ワークショップ、和歌山大学准教授のアドバイザリー等を通じて地域づくりに取り組んできた。本事業では、漁業の町ならではの漁具「ビン玉」を活用したライトアップ、空き店舗を活用した体験教室、まちの魅力を伝えるマップの作成、おもてなしイベント等を実施し、これらの取組を通じて、地域共同体や住民の誇りの再生、漁業文化の継承・発展等を目指す。 |

※受付番号3「柳井地域ふるさとツーリズム・ネットワーク」については、体験観光の推進をテーマとした調査の中で支援を行う。